

小波瀬在住の宮川さんが執筆本を寄贈 小説が映像化、文部科学省が認定

苅田町在住の宮川詩麻さんが12月5日、自身が執筆した小説「いのちの光」とそのDVD、エッセイ「幸せになっていいんだよ」を町に寄贈してくださいました。「いのちの光」は、ペースメーカー開発の父である田原淳博士の半生を描いた小説で、命の尊さと生き方を訴える物語。宮川さんは「これからも田原博士の偉業を沢山のの人に伝えていきたい」と話していました。書籍とDVDは町立図書館で借りることができます。



殿川クリーンクラブが県表彰を受賞 殿川ダム周辺の環境整備を評価

殿川ダム周辺の観光地としての環境整備に平成20年から取り組んでいるボランティア団体「殿川クリーンクラブ」が、その実績を評価されて福岡県観光功労者表彰（団体部門）を受賞しました。同クラブは、11月29日に受賞を町長に報告。堀正弘会長（写真右2）は「たくさんの人に桜やアジサイなど四季折々の花を楽しんでほしい。興味のある方はぜひ活動にも参加してもらいたい」と話しました。



まちの話題

KANDA TOWN TOPICS

北九州空港の滑走路延長工事・着工 地域全体の活性化を期待

北九州空港の滑走路を2500mから3000mに延伸する工事の着工式が、リーガロイヤルホテル小倉で12月2日に開催され、遠田町長と沖永議長が出席しました。滑走路は2027年8月末から供用開始予定で、延伸により北九州と北米・欧州を結ぶ大型貨物便の運航が可能となることで、物流拠点としての機能強化が期待されます。町長は「地域全体が活性化するように町も力を尽くしていきたい」と話しました。



ヤマトHDの貨物専用機の内部公開 来年4月から1日4便運航

来年4月からヤマトホールディングスとJALグループにより運航される貨物定期便の機体の内覧会が、11月30日に北九州空港で行われました。この貨物専用機は、もともと旅客機として使用されていた機体を改修したもので、大型トラック5～6台分（最大28トン）の貨物を1度に搭載でき、北九州からは成田・那覇などを結んで1日4便運航されます。内覧会には空港関係者が出席し、機体の内部を見学しました。



「誰か」のことじゃない。

12月4～10日は人権週間 啓発活動を行いました。



人権週間は、毎年12月4～10日に人権尊重思想の普及高揚を呼びかけるもので、今年は「『誰か』のことじゃない。」をスローガンに、全国各地で啓発イベントが行われました。苅田町でもこの期間、様々な啓発活動に取り組みました。

12月1～10日には、町立図書館で小中学生の人権作品や人権に関する図書を展示。力強いメッセージのこもったポスターなどが並べられ、展示期間中には多くの方が鑑賞に訪れました。

12月3日は中央公民館で「人権メッセージ2023」を開催。小中学生の人権作文の朗読・表彰式と人権講演会を行いました。講演会では、テレビ番組でもおなじみの生物学者・池田清彦さんが「がんばらない生き方、ありのままの自分を認めて」と題して講演。参加者は「一人ひとりの個性を大事にすることの大切さがとてもよく分かりました」と話していました。

12月6日には、人権擁護委員と役場職員がサンリブ苅田で街頭啓発を実施し、人権メッセージが記載されたノベルティグッズなどを配布。参加した委員は「今年も多くの方に啓発することができてよかったです」と話していました。

馬場小学校で「人権の花運動」の感謝式を行いました

育てたひまわりの種は メッセージとともに大空へ

馬場小学校で11月13日、ひまわりを種から育てる「人権の花運動」に4月から取り組んできた3年生を対象に感謝式が行われました。この運動は、花を育てることを通じて命を大切にすることを育んでもらおうと、人権擁護委員が町内の小学校で毎年実施しているもので、この日は委員から児童たちにお礼の記念品が手渡されました。児童たちは感謝式の後、収穫したひまわりの種をメッセージと一緒に風船で大空に飛ばしました。



第2 ひまわり保育園で環境講座 「地球温暖化ってなあに？」

福岡県地球温暖化防止推進員の松岡麻利子さんが11月8日、第2ひまわり保育園で「エコ出前講座」を行いました。この講座は、松岡さんが保育園や小学校に向いて地球温暖化防止に関する環境学習を行うもので、これまで60回以上開かれています。コロナ禍の影響で久々の開催となったこの日、園児たちは紙芝居やパネルシアター、サイコロなどを楽しみながら、地球温暖化や旬の食べ物について賑やかに学んでいました。



一人暮らしの高齢者宅で防火診断 ガス警報器の動作確認などを実施

消防本部が11月9・10日の2日間、「秋季全国火災予防運動」の一環として、一人暮らしの高齢者世帯の住宅防火診断を行いました。この診断は、消防職員が一人暮らしの高齢者の方に火の取り扱いなどを指導するもので、今回は6軒の住宅で実施。ガス警報器の動作確認や救急安心カードの配布などを行いました。訪問を受けた高齢者の方は「これからも警報器を定期的に点検していきたいです」と話していました。



地産地消フェアを4年ぶりに開催 地元産の新鮮食材が一挙に集う

地元産の農水産物が一挙に集う「地産地消フェア」が、12月3日に役場駐車場で開かれました。4年ぶりの開催となった今回、会場には野菜や魚介類、町の特産品を販売するブースが並んだほか、地元野菜をふんだんに使った豚汁のふるまいや景品があたる地球温暖化クイズなども行われ、会場は多くの人で賑わいました。参加した人は「生産者の方から新鮮な食材を直接買うことができ良かった」と話していました。



町の夜空を美しく照らす 苅田駅でイルミネーション始まる

苅田町の冬の風物詩「苅田町イルミネーション」がJR苅田駅前前で12月1日から始まり、色とりどりの明かりが町の夜空を照らしています。今回のイルミネーションは「苅田町～まちの歴史～」をテーマに、苅田工業高校の生徒や企業・団体が協力して製作。1日に行われた点灯式では、点灯の瞬間を見ようと多くの人が来場し、明かりが一斉に灯ると会場は大きな拍手に包まれました。点灯期間は来年1月30日までです。



まちの話題

KANDA TOWN TOPICS

苅田町の神楽団体・南原神楽講 門司港のイベントで神楽を披露

明治時代から活動する苅田町の神楽団体・南原神楽講が、11月18日に門司駅前広場で開催されたイベント「門司港で神楽を楽しむ！“KAGURA” Night」に出演しました。このイベントは、北九州市が門司港レトロの新たな夜間観光コンテンツとして開催したもので、南原神楽講は天孫降臨を主題とした「御先神楽」や天岩戸神話を由来とする「戸前神楽」などを披露。多くの人が足を止め、神楽を楽しんでいました。



県境をこえて電車でハロウィン 「中津駅1日駅長体験・出発式」

JR中津駅で12月3日、「中津駅1日駅長体験・出発式」が行われました。これは10月にJR九州と苅田町などの日豊本線沿線自治体が主催したハロウィンイベントの特賞として開催されたもので、特賞に当選した3名が1日駅長となり、観光列車「36ぶらす3」の出発合図や参加自治体特産品のPRを行いました。出発式には、豊玉姫など7市町のゆるキャラも集合し、会場は大いに賑わいました。



空手の全国大会に出場 町長に大会への意気込みを語る

アディダスカップ(12月/大阪)やリアルチャンピオンシップ(1月/神戸)などの空手全国大会に出場する苅田・行橋の選手たち(カ心塾今戸道場)が、11月25日に町長に出場を報告しました。全国大会に挑むのは、吉永琥珀さん(中1)、鷺海勇吹さん(小6)、吉永琥愛さん(小5)、吉村和空さん(小5)、今戸新さん(小4)、松崎登剛さん(小4)、前田祐利さん(小3)、前田一乃さん(年長)の8名。全国大会での活躍が楽しみです。



苅田小の足達愛梨さん チアダンス選手権全国大会出場

苅田小2年の足達愛梨さんが「第23回全日本チアダンス選手権大会」への出場を決め、11月22日に町長を表敬訪問しました。足達さんは、ダンススタジオ・ドリームドール(北九州市)のCharmeというチームに所属し、9月に開催された九州予選で優勝して全国大会への出場権を獲得。町長の前でキラキラのあるダンスを披露し、「日本一になってお世話になった人たちに喜んでほしいです」と意気込みを語りました。

